



高崎健康福祉大学附属幼稚園50周年特集 その1

以前お知らせしたとおり、健大幼稚園は創立から50周年を迎えました。今回はその第1回目として、創立の歴史を振り返ってみたいと思います。

【創立と歴史】

高崎健康福祉大学附属幼稚園の創立者は、現在の学校法人高崎健康福祉大の理事長である須藤賢一先生の伯母に当たる須藤いま子先生です。

○昭和11年(1936年)須藤いま子先生が須藤和洋裁女学院を高崎市嘉多町に開設

戦前、戦中、戦後の激動期を乗り越え、戦後の経済復興とともに生徒数も増え600人~800人に

○昭和35年(1960年)鉄筋3階建ての新校舎を建築

女性の社会的地位の向上と社会進出のためには高等教育が必要との強い信念をもっておられた。

○昭和41年(1968年)に高崎市中大類町に群馬女子短期大学を開設

○昭和43年(1968年)に附属高等学校開設

○昭和46年(1971年)に法人名を学校法人須藤学園から学校法人群馬女子学園に改称

○昭和49年(1974年)に附属幼稚園を開設

短大の教育理念に「感謝・奉仕・融和」を掲げ、全人教育を目指して女子教育一筋に歩み続けた須藤いま子先生は、群馬県教育界では先駆的な教育者として、多方面から多くの尊敬が寄せられていた。

○平成2年(1990年)8月病気のため急逝 享年77歳

須藤いま子先生の実弟であり、現理事長の父親でもある須藤治郎先生が理事長・学長に就任

○平成10年(1998年)現理事長である須藤賢一先生が理事長・学長に就任



↑須藤いま子先生



旧園舎
←前景



後景→



←鈴なりの子供たち

当時は珍しかった
幼稚園プール→



(文責 園長)